



報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社
 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-1
 TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。
 BCN総研 谷古宇(ヤコウ)

低価格PCの販売比率が30%を突破

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社は、東名阪のパソコン大手販売会社9社(エイデン、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ニノミヤ=50音順)284店舗の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキング(システム名:BCN Market View)を公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

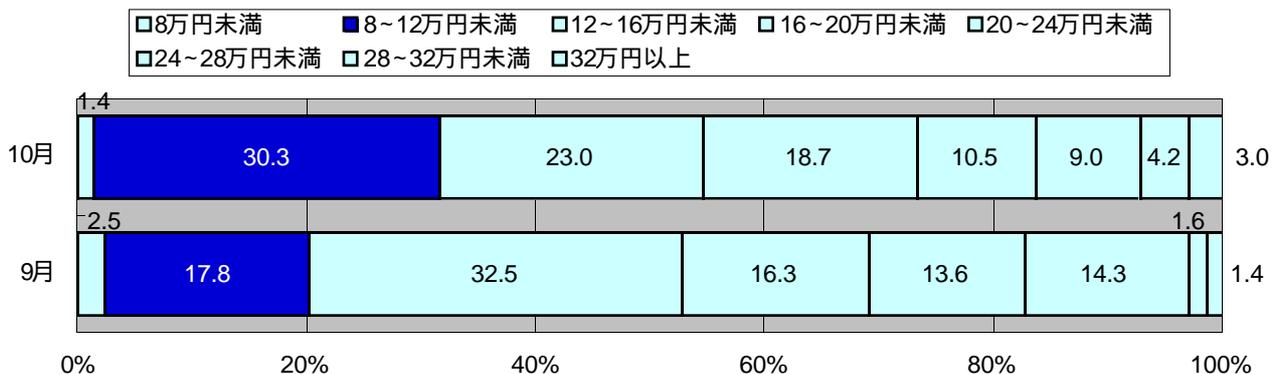
株式会社コンピュータ・ニュース社は(本社・東京都文京区、社長 奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研は、10月のデスクトップPCの販売で12万円未満の価格帯の比率が30%を超えたことを発表した。低価格PCの販売量は10月に入り急速に増大、前月比12.5%増の伸びを示した。今後のデスクトップの中心価格帯は10万円前後をボリュームゾーンとして推移する見込みで、春商戦頃には、40%を超えるものとみられる。

低価格PCの販売が伸びている。

図1をみると「8~12万円未満」の製品の販売量が全体の30% (前月比12.5%増)を超えていることがわかる。日本IBMの「Aptiva-20J」やNECの「VALUESTAR VU45L/15A」などBCNランキングの上位に登場する売れ筋製品がこの価格帯に含まれている。10月からこの価格帯に焦点を合わせた製品を発売する大手メーカーが増え始め、ボリュームが増加した。図2の週次トップ10ランキング(11月1日~11月8日)をみると、アップルの「iMac」シリーズをのぞき、すべて低価格のWindowsマシンとなっている。

大手メーカーが参入し始めたことで、低価格PCのラインナップが増え、消費者の認知度が向上している。今後、10万円前後の価格帯の製品ボリュームはさらに上昇していくと考えられる。2000年3~4月の春商戦において、40%強が10万円前後の価格帯の製品で占められると予測する。

図1 10月のデスクトップ価格帯分布



(BCNランキング)

図2 デスクトップ週次トップ10 (11月1日～11月8日)

順位	ベンダー	型番	品名	台数シェア(%)
1	アップル	M7668J/A グラフアイトDV/S	iMacDV Special G3-400/128MB/HD13GB/4×DVD-ROM/8VDRAM	6.72
2	アップル	M7469J/A ブルーベリー	iMac G3-350/64MB/HD6GB/24×CD/8VDRAM	5.09
3	SOTEC	M246	PC STATION M246	4.54
4	NEC	VU45L/15A	VALUESTAR U	3.70
5	日本IBM	2190-4J5	Aptiva 24J	3.30
6	アップル	M7672J/A グレーブDV	iMacDV G3-400/64MB/HD10GB/4×DVD-ROM/8VDRAM	3.02
7	アップル	M7493J/A ブルーベリー-DV	iMacDV G3-400/64MB/HD10GB/4×DVD-ROM/8VDRAM	2.79
8	アップル	M7631J/A	PowerMac G4 400/64MB/HD10GB/32XCD	2.75
9	アップル	M7671J/A タンジェリンDV	iMacDV G3-400/64MB/HD10GB/4×DVD-ROM/8VDRAM	2.39
10	アップル	M7440J/A ブルーベリー	iMac G3-333/32MB/HD6GB/24XCD/6MVRAM	2.30
		その他		63.40

(BCNランキング)